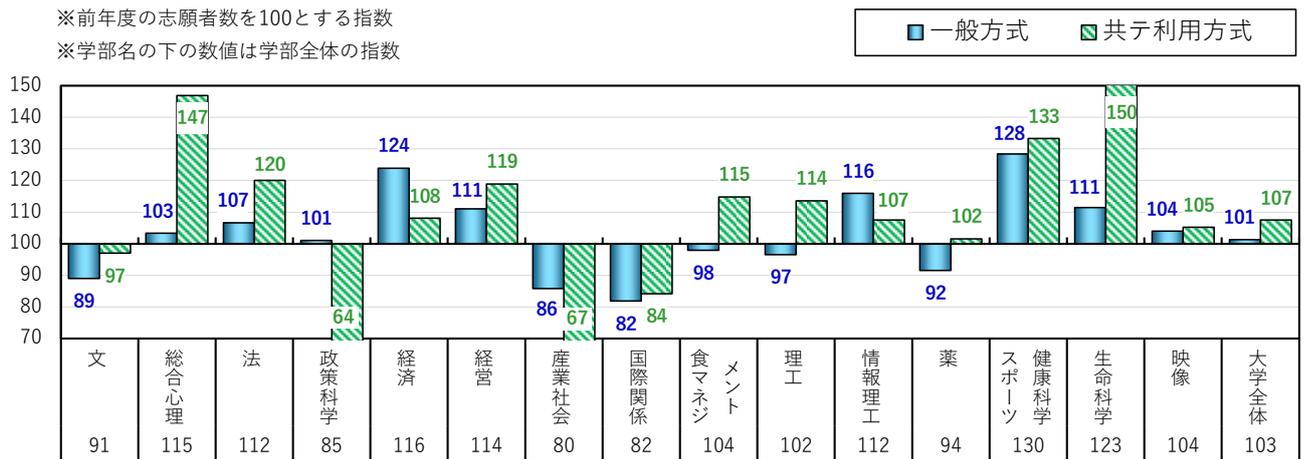


立命館大：大学全体では 2 年連続増加、15 学部中 10 学部で増加 一般：+732 人 共テ：+2,315 人



主な入試変更点

選抜方法：総合心理…<理系型 3 教科>、<共テ・3 教科型>新規実施  
<学部個別・理科 1 科目型>廃止  
募集人員：法…<全学統一・文系>185 人→200 人、<学部個別・文系型>65 人→70 人、  
<共テ併用>65 人→40 人、<後期分割>22 人→20 人  
<共テ・7 科目型、5 教科型、3 教科型>合わせて 113 人→合わせて 120 人  
配点変更：産業社会(現代社会)<学部個別・文系型>…国<100>+外<100>+(歴公 or 数)<200>=総点<400>  
→国<150>+外<150>+(歴公 or 数)<200>=総点<500>  
入試科目：産業社会(現代社会)<共テ併用・3 教科型>…<共テ>(歴公 or 数) ※高得点 1 科目採用  
<個>国+外  
→<共テ>国+(歴公 or 数) ※選択は高得点 1 科目採用  
<個>国+外  
<共テ・3 教科型>…外+(国 or 歴公 or 数 or 理・理基 2)→2  
※選択は高得点 2 科目採用  
※公、数はそれぞれ高得点 1 科目採用  
→国+外+(歴公 or 数 or 理・理基 2)  
※選択は高得点 1 科目採用

COMMENT ※( )内の数値は志願者数の前年度対比指数

大学全体では、2021 年度大幅減少の反動で前年度増加に続き 3,047 人(103)のやや増加。方式別では、一般方式は 732 人(101)の微増、共通テスト利用方式は 2,315 人(107)のやや増加。学部別では、15 学部中 10 学部が増加で、スポーツ健康科学(130)、生命科学(123)、経済(116)、総合心理(115)が大幅増加。一方で、産業社会(80)、国際関係(82)、政策科学(85)が大幅減少。

<一般方式>

- 文(89)は、減少。学域別では、(人文/地域研究)(143)は 2 年連続減少の反動で大幅増加、(人文/国際コミュニケーション)(109)は増加。一方で、(人文/国際文化)(74)は系統への低い人気もあって大幅減少で 3 年連続減少。志願者数も 1,000 人を下回った。(人文/人間研究)(78)、(人文/東アジア研究)(79)、(人文/言語コミュニケーション)(80)、(人文/日本文学研究)(80)はいずれも大幅減少。
- 総合心理(103)は、やや増加で 2 年連続増加。新規実施の<理系型 3 教科>を除くと(98)の微減。方式別では、<全学統一・文系>(111)は増加。一方で、<後期分割>(80)、<学部個別・文系型>(85)はいずれも大幅減少。
- 法(107)は、やや増加で 2 年連続増加。方式別では、<全学統一・文系>(109)は増加で 2 年連続増加。一方で、<学部個別・文系型>(95)はやや減少で 2 年連続減少。
- 政策科学(101)は、4 年連続減少の反動ではなく微増。方式別では、<学部個別・文系型>(136)は大幅増加、<全学統一・文系>(114)は増加。一方で、<後期分割>(50)は半減。
- 経済(124)は、大幅増加で 2 年連続増加。専攻別では、(経済/経済)(125)、(経済/国際)(119)はいずれも大幅増加。
- 経営(111)は、2 年連続減少の反動で増加。学科別では、(経営)(112)、(国際経営)(108)はいずれも増加。
- 産業社会(86)は、前年度増加の反動で減少。専攻別では、5 専攻とも減少で、(現代社会/人間福祉)(79)は大幅減少で志願者数が 2012 年度以降最少の 620 人だった。(現代社会/子ども社会)(83)、(現代社会/現代社会)(83)、(現代社会/スポーツ社会)(84)はいずれも大幅減少、(現代社会/メディア社会)(99)は唯一微減に留まった。
- 国際関係(82)は、大幅減少で前年度の反動による増減が継続。専攻別では、2 専攻とも大幅減少で、(国際関係/グローバル・スタディーズ)(65)は前年度大幅増加の反動で大幅減少、(国際関係/国際関係)(85)も大幅減少。
- 食マネジメント(98)は、前年度 2018 年度の新設以降で初めて増加したが微減に戻った。方式別では、<学部個別・文系型>(111)は増加で 3 年連続増加、<全学統一・文系>(105)はやや増加で 2018 年度新設以降初めての増加。一方で、<後期分割>(65)は大幅減少、<理系型 3 教科>(97)はやや減少。
- 理工(97)は、やや減少。2020 年度以降前年度の反動での増減が継続。学科・コース別では、(数理学/データサイエンス)(145)は系統への高い人気もあり、2020 年度の新設以降で初めての増加で大幅増加、(ロボティクス)(118)は大幅増加。一方で、(電子情報工)(84)は大幅減少、(環境都市工)(86)、(建築都市デザイン)(88)、(電気電子工)(89)はいずれも前年度大幅増加の反動で減少。

- 情報理工(116)**は、系統の高い人気もあり2年連続大幅増加。
- 薬(92)**は、前年度激増の反動で減少。2019年度以降前年度の反動での増減が継続。学科別では、(創薬科学)(88)は前年度2.6倍の反動で減少、(薬)(94)は前年度大幅増加の反動は小さくやや減少に留まった。
- スポーツ健康科学(128)**は、大幅増加で2年連続増加。方式別では、全ての方式で増加し、<学部個別・文系型>(141)、<全学統一・文系>(129)はいずれも大幅増加。
- 生命科学(111)**は、2年連続増加。学科別では、4学科とも増加で、(応用化)(112)、(生物工)(112)、(生命医科学)(111)、(生命情報)(110)はいずれも増加。
- 映像(104)**は、やや増加で4年ぶりに増加。方式別では、<学部個別・文系型>(121)は大幅増加、<全学統一・文系>(108)は増加。一方で、<後期分割>(72)は2年連続大幅減少、<学部個別・理科1科目型>(87)は減少。

#### <共通テスト利用方式>

- 文(97)**は、前年度大幅増加の反動は小さくやや減少。学域別では、(人文/地域研究)(139)は大幅増加で2年連続増加、(人文/国際コミュニケーション)(126)は2年連続大幅増加。一方で、(人文/言語コミュニケーション)(78)は前年度倍増以上の反動で大幅減少、(人文/国際文化)(81)は大幅減少で、志願者数は500人を下回った。(人文/人間研究)(85)も大幅減少。
- 総合心理(147)**は、2年連続大幅増加で、志願者数は6年ぶりに1,000人を上回った。
- 法(120)**は、大幅増加で4年ぶりに増加。
- 政策科学(64)**は、前年度大幅増加の反動で大幅減少。
- 経済(108)**は、増加。専攻別では、(経済/経済)(105)はやや増加だが、(経済/国際)(184)は前年度半減以上の反動で激増。
- 経営(119)**は、2年連続減少の反動で大幅増加。学科別では、(経営)(119)、(国際経営)(119)はいずれも大幅増加。(経営)は3年ぶりの増加だが、(国際経営)は2年連続増加。
- 産業社会(67)**は、<共テ併用・3教科型>、<共テ・3教科型>でいずれも国が選択から必須になったこともあり、大幅減少で3年連続減少。専攻別では、5専攻全てが大幅減少。特に(現代社会/人間福祉)(60)は3年連続大幅減少で、志願者数は220人を下回った。(現代社会/現代社会)(65)も大幅減少で、志願者数は1,000人を下回った。
- 国際関係(84)**は、(国際関係)のみの募集。系統への低い人気も影響して、大幅減少で6年連続減少。志願者数は500人を下回った。
- 食マネジメント(115)**は、大幅増加で、志願者数は4年ぶりに900人を上回った。
- 理工(114)**は、2年連続増加。学科別・コース別では、(数理科学/データサイエンス)(325)は系統への高い人気もあり3.2倍以上、(ロボティクス)(158)、(機械工)(133)はいずれも大幅増加。一方で、(電子情報工)(76)は大幅減少で8年ぶりに600人を下回った。
- 情報理工(107)**は、やや増加で前年度の微増に引き続き2年連続増加。
- 薬(102)**は、前年度並。学科別では、(薬)(111)は増加で2年連続増加。一方で、(創薬科学)(85)は前年度激増の反動で大幅減少。
- スポーツ健康科学(133)**は、2年連続大幅増加。方式別では、<後期型>(71)以外は全ての方式で増加。特に、<共テ併用>(169)は大幅増加で、志願者数は5年ぶりに300人を上回った。
- 生命科学(150)**は、2年連続減少の反動で大幅増加。学科別では、4学科とも大幅増加で、(生物工)(188)は3年連続減少の反動で激増、(生命情報)(161)は激増で2年連続増加。(応用化)(139)、(生命医科学)(124)はいずれも2年連続減少の反動で大幅増加。
- 映像(105)**は、やや増加。方式別では、<共テ・5教科型>(128)は大幅増加で2年連続増加。一方で、<共テ・後期型>(82)は2年連続大幅減少